

ほうれんそう栽培を高能率化する作業機械及び4 Kハウス

【1 成果概要】

- (1) 雨よけほうれんそう栽培は、乗用管理機と各種作業機の組み合わせにより、は種、防除、収穫作業を現行の1/3程度に高能率化できます(図1～3、表1)。
- (2) 乗用管理機による作業を効率的に行うためのハウスは主に次の点に配慮して設置します。
- ア つま面を無くし、機械の往復作業を可能にします(図4)。
- イ アーチパイプの肩までの高さを190cm以上、梁の高さを200cm以上、かん水チューブの設置位置を高さ90cm以上とします(図4)。
- ウ 風が強く当たる場所を避け、防風ネットを設置し、積雪期間はビニルを除去します。
- エ この仕様のハウスを便宜上“4 Kハウス”(軽作業、規模拡大、高齢化対応、県北振興)と呼称しています。



図1 乗用管理機及び6条は種機

図2 4 Kハウスにおける
ブームスプレーヤの使用

図3 根切機を用いた収穫作業

表1 機械化体系での作業時間(分/10a)

	は種作業	防除作業	収穫作業
作業時間(暫定)	80	10	960
現行の作業時間	300	40	2,880

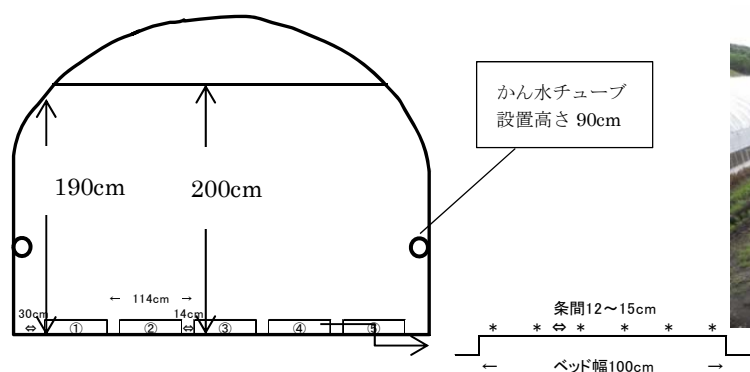


図4 雨よけほうれんそうの機械化に適合する“4 Kハウス”の構造(正面)図及び4 Kハウスの全景

【2 今後の研究の方向】

現在進めている研究課題「生食用ほうれんそう軽労生産システムの確立」に組み入れて、さらに実証を重ね作業体系を確立していきます。

【3 留意事項】

ハウスの耐風対策、コストなどは担当研究室にお問い合わせください。

担当研究室 県北農業研究所 園芸研究室

〒028-6222 九戸郡軽米町山内 23-9-1 TEL. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011